

第28回山梨県美容技術

選手権大会を開催

個々の創造性や技術を競う

ACTIVE KUMIAI

山梨県美容業生活衛生同業組合(深澤仁理事長)は7月14日(月)、甲府市の「かいてらす」(山梨県地場産業センター)において第28回山梨県美容技術選手権大会を開催した。

大会には93名の美容師と美容専門学校生が参加し、ワインディング、アップスタイル、カット&ブローなどのヘアスタイル競技、留袖着付、中振袖着付などの衣装競技、学生ネイルアート、ストリートカット競技などが行われた。

参加選手はそれぞれがエントリーした競技に挑み、日頃から研鑽を重ねてきた技術をもとに、制限時間内でファッション性や芸術性の調和、独自の創造性・感性などを競い合った。

この大会は、第42回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選も兼ねており、選抜された成績優秀者は、10月21日(火)に大阪府で開催される、全日本美容技術選手権大会への出場権が与えられる。

また、全日本美容業生活衛生同業組合連合会が主催する全国大会は、世界大会にも繋がっており、今後、世界を舞台にした活躍も期待できることから、選手にとっては、大きなチャンスの場ともなっている。

美容業界では、日々多様化が進む顧客ニーズへの対応や、最新ファッション、流行に敏感な顧客を満足させる高度で新しい技術の提供が必要とされていることから、創造性と技能を備えた人材の育成が急務となっており、美容師個々の技術向上はもとより、競い合うことで業界として次代を担う人材の養成につながることも目指している。



美容技術選手権大会の様子

組合では、この競技大会を通じて、参加選手の中から将来、業界のリーダーとなり活躍している人材が育つことに期待を寄せている。



開会あいさつを行う「深澤仁理事長」